

用語集

ア行

ISO14001

ISO（国際標準化機構、International Organization for Standardization）の環境に関する国際的な標準規格。企業活動などに伴う環境への影響を最小限にとどめることを目的につくられており、Plan（計画）、Do（実行）、Check（点検・評価）Action（改善）といった一連のPDCAサイクルを回すことによって継続的な環境改善を図る。

ESD

持続可能な開発のための教育（Education for Sustainable Development）。一人一人が、世界の人々や将来世代、また環境との関係性の中で生きていることを認識し、行動を改革することが必要とされている。そのため、環境教育、国際理解教育等の持続可能な発展に関わる諸問題に対応する個別の分野にとどまらず、環境、経済、社会の各側面から取り組むことが重要となっている。

エコアクション21

中小事業者、学校など広範囲な事業者が、環境への取り組みを効果的、効率的に行うことを目的に、環境経営システムを構築、運用、維持するとともにその結果を社会に公表するための環境省が策定したガイドライン。

エコツーリズム

自然や人文環境を損なわない範囲で、自然観察や先住民の生活や歴史を学ぶ、新しいスタイルの観光形態。なお、地域住民の働き場が組み込まれていることなど観光収入が地域にもたらされることも必要条件として概念に含める場合も多い。

類義語：グリーンツーリズム

農山漁村地域においてその自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動。

NPO

民間非営利活動組織（Non Profit Organization）。政府や企業等では対応できない社会的な問題に、非営利で自発的・継続的に取り組む団体。自発性に基づいた社会的な活動を行う自治体・町内会、婦人会といった組織・団体を含み、法人格の有無を問わない。

おかやま有機JAS

おかやま有機無農薬農産物。農薬・化学肥料を一切使わない農産物に対する岡山県独自の認定制度。

カ行

環境影響評価（環境アセスメント）制度

道路、ダム事業など、環境に著しい影響を及ぼす恐れのある開発事業等の行為について、事前に環境への影響を調査、予測、評価して、その結果を公表して地域住民、地方公共団体等の関係者の意見を聴き、環境を保全するための適切な配慮を行うための仕組み。

サ行

里地里山

都市域と原生自然との中間に位置し、農林業など人と自然の長年の相互作用を通じて自然環境が形成された地域。二次林、水田、畑地、小川といった身近な自然が存在し、多様な生物の生息環境として、また、地域特有の景観や伝統文化の基盤としても重要な地域。

種の保存法

国内外の絶滅のおそれのある野生生物の保護を図ることにより良好な自然環境を保全するための法律で、正式名称を「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」という。

国内外の絶滅のおそれのある動植物種を国内希少野生動植物種、国際希少動植物種として指定し、捕獲、譲渡等を原則として禁止するほか、生息地等保護のための規則、保護増殖事業の実施も含まれている。

生物多様性基本法

「生物多様性条約」の国内実施に関する包括的な法律として、議員立法により平成20年5月28日に成立、6月6日に公布された。「環境基本法」の下位法として位置付けられる基本法で、生物多様性に関する個別法に対しては上位法として枠組みを示す役割を果たす。

生物多様性の保全及び持続可能な利用についての基本原則を示すとともに、これまで生物多様性条約に定められた締約国の義務に則り閣議決定等により三次にわたり策定されてきた「生物多様性国家戦略」が、法律に基づく戦略として位置付けられた。

ナ行

二次林

原生林が伐採や災害によって破壊された後、自然または人為的に再生した森林。

ハ行

ビオトープ

ドイツ語で生物を意味する「ビオ (bio)」と場所を示す「トープ (top)」の合成語。生物が互いにつながりを持ちながら生息している空間のこと。

ラ行

レッドデータブック

絶滅のおそれのある野生生物の情報をとりまとめた本のこと。

絶滅の危機にある野生生物の現状を的確に把握するために、地方自治体・国・団体等によって作成されている。

岡山県内では、岡山県内の絶滅のおそれのある野生生物の情報を把握するため、岡山県によって、「岡山県版レッドデータブック2009」が2010年3月に作成されている。

岡山県版レッドデータブックに掲載される種がレッドリストにあたる。

レッドリスト

日本に生息又は生育する野生生物について、生物学的観点から個々の種の絶滅の危険度を科学的・客観的に評価し、その結果をまとめたリスト。

わが国では、環境省によって、日本の絶滅のおそれのある種のリストをまとめた「環境省版レッドリスト」が作成されている。